

不明確なため、研修意欲が高まらない。授業研究内容の共有化を図り、授業の質的改善に結びつく授業研究は、どのような手順・内容ですすめたらよいか。

ウ 推進過程における研修資料の収集・活用が不十分である。「研究主題到達までの資料の収集・活用はどうあったらよいか」

エ 協働意欲を高めるリーダーのあり方・具体的援助指導の内容・方法が不明確である。「研修推進過程におけるリーダーのあり方・援助指導はどうあったらよいか」

ア 到達目標達成までの研究推進の形成的評価の内容・方法が不明確である。「主題研究推進における形成的評価はどうあったらよいか」

イ 計画・実施・評価各段階における総合的評価が不十分である。「主題研究推進各段階の総合的評価はどうあったらよいか」

ウ 前年度の研究実践評価内容が本年度に生かされていない傾向がみられる。「次年度に生かす評価結果の活用はどうしたらよいか」

四 自己啓発を促す校内研修のあり方・すすめ方(試案)例

前記の研究実践課題をふまえて作成している「校内研修のあり方・すすめ方」(例を参照)を紹介します。これは「計画の段階」のウ、「研修意

欲を促す研修組織のあり方」の例です。

五 おわりに

現在作成中の試案は、県下の先生方の要望に応える「改善充実策」でもあります。総数十一になります。(本年度研究紀要に全概要掲載予定)これらの試案を県内の研究協力校にお願いし、各校の現職研修を通して

検討していただきながら、より教育現場の校内研修に役立つものに修正し、平成元年度末には「校内研修ハンドブック」としてまとめ、県下各校へ提示する予定であります。

資料(計画段階)ウ. 研修意欲を促す研修組織のあり方

課題	改善の方向	改善の具体策	配慮事項
<p>問題点</p> <p>学校の実態や個人の希望、特性を研修組織をつくるのが難しい。</p> <p>↓</p> <p>研修意欲を促す研修組織は、どのような手順でつくればよいか。</p>	<p>☐校内研修組織の改善点を明確にする。</p>	<p>☐全職員から校内研修組織についての反省をとり集約する。</p>	<p>○次のことがらについて反省する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態に適合した研修組織であったか。 ・人間関係はどうであったか。 ・リーダーはどうであったか。 ・具体的な分担内容はどうかであったか。 <p>これらの関連について、改善点や努力点など具体的な課題についてあげさせる。</p>
	<p>☐校内の研修組織図をつくる。</p>	<p>☐職員の実情や反省を生かして研究主題に合った研修組織図をつくる。</p>	<p>○集約された反省をもとに、部門や係の必要性を検討し、職員の実情も十分に考慮して、研究主題の到達目標に迫ることができるような研修組織図をつくる。</p>
	<p>☐部門や係について教師一人一人の希望を集約する。</p>	<p>☐教師一人一人の希望する部門や係についての分担領域を具体的に集約する。</p>	<p>○個人の適性についての自己評価をもとに、研究教科、年齢、性別、特技等を幅広くとらえ、個人の希望を集約する。</p>
	<p>☐個人の希望や特性を考慮する</p>	<p>☐集約した個人の希望や能力適性を配慮する。</p>	<p>○自分の適性を考えた自己診断にもとづいた希望や他の校務分掌等の分担内容等を全体的に考えて、校長、教頭、現職教育委員会等の立場から配置する。</p> <p>○希望の調整には、個人との話し合いも重視する。</p>
	<p>☐校内研修組織の原案をつくり提示する。</p>	<p>☐個人の希望や特性をもとに原案をつくり全体に提示して検討を促す。</p>	<p>○原案を提示するときには、次のことを十分に説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌全体との関係を考慮して分担したこと。 ・学校の実情に応じて、協働して研修に励むことができるように分担したこと。 ・教師一人一人のニーズも考慮してリーダーを適切に配置したこと。 ・校内研修の推進にあたって有効に機能する組織にしたこと。 <p>○個人で十分に検討できる時間を与え、手順をふんで研修組織をつくっていくようにする。</p>
	<p>☐研修組織の原案を検討する。</p>	<p>☐提示された研修組織の組織図と係配当の問題点を吟味する。</p>	<p>○個人の要望をもとに研修組織の原案を再検討し、組織図の変更に迫られた場合には☐に戻って更に検討を加える。</p> <p>※主として現職教育委員会等で検討する。</p>
	<p>☐吟味した研修組織の共通理解を図る。</p>	<p>☐全体研究協議会等で吟味した研修組織について共通理解を図る。</p>	<p>○共通理解を図るために次のことを配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に意見を出し合える雰囲気をつくり十分に話し合う。 ・原案に対する意見を十分に聴取し、現職教育委員会等で十分検討し、個人の希望をできるだけ考慮してきたことを説明する。